

2025/4/14

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

## 先週のマーケット動向(4月7日～4月11日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,462.0	1,487.6	1,446.0	1,449.9	+15.8
JPY/KRW	10.0464	10.2586	9.8177	10.0743	+0.254
KOSPI	2,359.25	2,445.06	2,284.72	2,432.72	▲32.70

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は小幅上昇。前週末（4日）尹氏の罷免が確定し、政治の不透明感が後退したことでウォン高に進行するも、その後米相互関税を懸念してウォン安が進行し、週初のドル/ウォンは1,462.0ウォンでオープン。その後もウォン安推移が継続した。8日には中国が米国への報復関税を発表したことで貿易摩擦の深刻化が懸念された。9日には一時ドル/ウォンは1,487.6ウォンまで上昇。韓国国債の世界国債インデックス（WGBI）への組入れ開始時期が今年の11月から26年4月に延期されたことも悪材料となり、ウォン安が進行した。しかし、米国が相互関税の一部について90日間停止することを発表すると為替相場は急落。11日にかけてドルが対主要通貨で下落する中、対ウォンでも上値重い推移となり、前週末比+15.8ウォンの1,449.9ウォンでクローズした。（韓国時間15:30）

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは荒い値動きが継続か。先週のドル/ウォン相場は米政権の関税政策に振り回され、相互関税の一部の適用が90日停止されたほか、電子機器や半導体製品への適用も除外することが発表されたことで、週初のドル/ウォンは1,420ウォン付近で取引を開始しよう。しかし、今朝の報道では電子機器について今後予定している半導体に関する関税適用の対象になるとの報道があり、引き続き米政権の動向によって為替相場が上下する展開が想定される。韓国の輸出貿易にとって悪材料が出た場合はウォン安が再度進行することが想定され、注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1410 ~ 1460	9.80 ~ 10.20	142.5 ~ 145.5

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 14日(月) 日 2月 鉱工業指数 確報値  
中 3月 貿易収支
- 15日(火) 米 4月 NY連銀製造業指数
- 16日(水) 米 3月 小売売上高  
米 3月 鉱工業生産  
欧 3月 CPI 確報値  
日 2月 機械受注  
中 3月 小売売上高  
中 3月 鉱工業生産  
中 1Q GDP
- 17日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数  
米 3月 住宅着工件数  
日 3月 貿易統計  
欧 ECB 政策金利発表  
韓 BOK 政策金利発表
- 18日(金) 日 3月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。